

問 南部グランド契約期間が過ぎている

答 覚書の内容を振り返り方向性を協議



横田孝穂 議員

【村の当面の課題】

問 南部グランド村営化に伴う借借契約期間は、平成6年から15年間で、すでに契約期間が過ぎている。新たな契約更新されず大規模改修工事が行われた理由は、

答 締結以来、期間の更新がなされていないことは事実。今日に至るまで、両地区と村が合意する中で村による管理が続いている。当時から懸案として特に雨水対策のための排水整備を進めるとされており、今回の改修工事により懸案事項は解消され、当時の覚書の内容を振り返り今後の方向性の協議を進める。

問 1億2千万円の大事業を更新手続き無しで改修。

土地所有権は2名で法定相続人が発生している。これは積極的な行為を怠った不作為的要素は非常に大である。倫理的に欠け行政としての法令遵守(コンプライアンス)について伺いたい。

答 議員の言われるとおりで、今行政の首長という立場にいて非常に反省が活かされていないと言われましたが全くそのとおりだと反省をしている。職員それぞれもしっかり肝に銘じ、今後進めていかなければと再認識をしている。誠に申し訳ない。

問 国の調査によると、不動産登記簿上での所有者の所在が確認できない土地は全国で20%。当村の現状は、

答 課税や徴収において所有者が特定できない、連絡ができない、納税の告知ができない、税金の徴収ができないといった問題は件数としてはまだ少ないのが現状。将来的には相続放棄などで大きな問題になる要素を含んでいる。村での現状は3法人3個人で筆数は93筆今年度の固定資産税額は13万4700円。

村の無電柱化の内容は。本年度から県の調査費が計上され、駅前200mを第一期の区間とし測量と詳細設計に入り、引き続き占用者との協議を進める。国道駅前通り線480m 県道白馬岳線700mも具体的な検討に入る。

の固定資産税額は13万4700円。

問 村の無電柱化の内容は。

答 本年度から県の調査費が計上され、駅前200mを第一期の区間とし測量と詳細設計に入り、引き続き占用者との協議を進める。国道駅前通り線480m 県道白馬岳線700mも具体的な検討に入る。

問 地域の同じ要望など毎年提出は必要か

答 毎年提出して頂き早く要望に応えたい

【地区役員懇談会】

問 少子高齢化による普請作業要員不足は。

答 集落支援員の活用のほか今年度は重機による草刈等を実施し、地域課題を解決する法人等が活動する資金を援助するしくみも10月創設した。

問 区未加入者の防犯灯等区所有施設利用の不公平感の解消は。

答 共益費をどう定義するかなど各地区の事情もあり、仮に区から未加入者へ請求しても根拠を求められるため、区の規則等で明確にする必要がある。

問 ごみ集積所での地区未加入者への利用対策は。

答 八方清掃センターで受け入れを行っている。利用状況を勘案しパッカー車待機による拠点回収の強化など検討する。



無電柱化推進計画予定地の白馬駅前周辺